

2023年 7月20日

川西市議会議長 様

会派(呼称)名 公明党

議員名 大矢根 秀明

※議員名欄は署名又は記名

管 外 調 査 報 告 書

このたび、管外調査をいたしましたので、その概要を下記のとおりお届けいたします。

記

1 調査者氏名 大矢根秀明 平岡譲 大崎淳正 山崎孝弘 榮奈津子

2 調査先 山口県防府市
山口県宇部市

3 調査期間 2023年 7月 5日（防府市）
2023年 7月 6日（宇部市）

4 調査結果の概要

- 幸せます健康くらぶ事業について
 - ① 幸せます健康くらぶ事業の概要
 - ② 事業開始に至るまでの経緯
 - ③ 事業効果とサービス利用状況について
- 彫刻のあるまちづくりについて
 - ① 彫刻のあるまちづくりにおける現状について
 - ② 彫刻文化に対する学校教育等との連携について
 - ③ 市民への普及活動及び交流人口の増加に向けた広報活動について
 - ④ これまでの課題についてと、解決の方法、そしてこれからの取り組みについて
 - ⑤ その他、他の部局や団体等との連携など特別な取り組みがあれば教えてください。

所管

○防府市「幸せます健康くらぶ事業について」

防府市は、本州の西端、山口県の中央部にあって、瀬戸内海に面しており山口市や周南市に接している。南方海上の向島、佐波島と南東に浮かぶ野島も市域に属している。この地域は弥生時代より開け、政治の中心地であり、鉄道の開通や大規模な工場立地などにより、交通や産業の発展がめざましく、昭和 11 年 8 月に防府町・中関町・牟礼村・華城村が合併し山口県で 6 番目の市として発足した。戦後は、広大な塩田跡地に多くの企業が進出し、県下トップクラスの製造品出荷額を誇る産業都市となった。

① 幸せます健康くらぶ事業の概要

近年、人口減少や高齢化が著しく、介護予防教室を地域に広げて行くことの必要性は感じていたが、「住民主体」で多くの通いの場を作ることが困難と感じており、まずは「送迎付きの通いの場」を少数つくることから始められたが、中々地域の協力を得ることができなかった。

② 事業開始に至るまでの経緯

平成 28 年 8 月向島地区の地域ケア会議において「閉じこもり傾向の高齢者の支援」という課題が議論となり「このような高齢者を支援したい」との意見が出された。会議に出席していた社会福祉法人より市に、地域貢献活動について「何をしたらよいか悩んでいる」との相談があり、市より「ショッピングモールまでの移動支援委ついて協力できないか」との提案で実施につながった。さらに、民生委員・児童委員協議会の定例会で地域の協力を得ることが決まり、事業開始につながった。

③ 事業効果とサービス利用状況について

向島地区の「幸せます健康くらぶ」は月 2 回の介護予防教室への送迎を社会福祉法人（車両と運転者）が行い、1 回は買い物、1 回は公民館で予防教室を実施、乗降場所も 10カ所設けられ参加調整は地域団体がおこない、地域団体からは見守り当番 2 名が同行し、買い物や予防教室の対応を行っている。利用状況は、コロナ化もあったが 10 名以上の利用があり、利用内容で参加者も変化している。

川西市においても、買物支援と介護予防教室を一体的に行える事業は、とても参考となる。本市にあったサービスを研究する必要があるものの、地域や事業者など総合的に取り組む課題として非常に参考となる事業であった。

防府市役所



所見

○彫刻のあるまちづくりについて

「UBE ビエンナーレ」は、戦後のまちの美化と心の豊かさを求める市民運動をきっかけとして、1961年から2年に一度の開催を続ける世界で最も歴史ある野外彫刻の国際コンクールです。

国内外の応募の中から選ばれた15点の野外彫刻が、広大な湖と豊かな緑に囲まれたUBE ビエンナーレ彫刻の丘に飾られます。

① 彫刻のあるまちづくりにおける現状について

町中に置かれたオブジェは、まち全体がひとつのミュージアムのように、宇部市民が世代を超えて受け継ぎ「アートによるまちづくり」を市民とともに守り続けられている。

② 彫刻文化に対する学校教育等との連携について

宇部市内の中学校では、まちの特色や地域への貢献を学ぶ授業の一環として、毎年ときわ公園の彫刻清掃を行ったり、子どもたちのものづくり体験も実施されています。

③ 市民への普及活動及び交流人口の増加に向けた広報活動について

現在、町中に置かれたオブジェは200、ときわ公園にはその半数の100を設置し、様々なイベントが行われており、市内の各所に100のオブジェが配置され、普段の生活でも触れたりできる環境を作り出している。この事業が交流人口の増加に繋がれるよう検討している。

④ これまでの課題についてと、解決の方法、そしてこれからの取り組みについて

地元地域や彫刻家の中では知られているが、全国的には知名度は低く、広く知ってもらえる取り組みが課題となっている。

また、市民団体等の協力で清掃活動はあるが、彫刻の維持管理と修繕等にかかる費用が課題となっている。

⑤ その他、他の部局や団体等との連携など特別な取り組みがあれば教えてください。

文化振興課がUBE ビエンナーレは所管しているが、公園や遊園地、植物園など管理が分かれており、連携していない。また企業等の支援もあり運営できているが、維持管理など課題も多い状況である。

宇部市では、環境問題等から市民運動として彫刻のあるまちづくりを協働して取り組んでこられた歴史があります。一昨年には市政100周年UBE ビエンナーレ60周年という歴史を刻まれました。

こうした市民協働の一体のまちづくりが求められているように考え、宇部市に学ばせていただきました。

ときわミュージアム

